



①青野塾長②熊倉社長③第1工場を見学する参加者④意見交換会のもよう⑤東港工場正門で記念撮影

## 東構塾が「第6期研修旅行」

### 藤木鉄工東港工場(新潟)を見学

#### 塾生ら23人が参加

東京鉄構工業協同組合の青年経営者委員会が主催する若手経営者・技術者育成プロジェクト、東構塾(青野弘毅塾長)は2日、「東構塾第6期研修旅行」として新潟県の新潟市中央区東大通、熊倉吉一(社長)東港工場(北蒲原郡聖籠町)を見学した。当日は青野塾長ほか塾生ら23人が参加した。同研修旅行は、第6期東構塾の集大成として、鉄構業界でトップクラスの企業の工場を実際の目で見て学ぶことを目的に企画されたもの。

一行を出迎えた熊倉社長は、「この業界では一人勝ちはない。皆さんといろいろな情報を共有し、知恵を出し合って発展していきたい。そのため、当社では技術や製作工程での創意工夫など、皆さんに隠すものは何一つない。じっくりと見学して、忌憚のないご意見をいただきたい」とあいさつした。

見学会では、藤木鉄工の小泉好成製造部長ら担当者から企業や工場の概要説明を受けた後、4班に分かれて第1工場から第5工場ならびにプラスト工場などを見て回った。意見交換会では、参加者から、▽高い内製化率を維持するための対策および課題▽進捗よく度の把握や製品管理など詳細な工程管理方法▽冬季の溶接の余熱管理方法や夏の熱中症対策▽外国人技能実習生の教育システム▽図面の三次元化の現状とBIMの方向性——など、活発な質疑が生まれ、担当者が詳細に回答した。